

実績報告書

届出者	住所	大阪市西淀川区竹島2-3-18	氏名	シノプフーズ株式会社 代表取締役 松本 崇志
特定事業者の主たる業種		9食料品製造業		
該当する特定事業者の要件		レ	大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第1号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第2号に該当する者	
			大阪府温暖化の防止等に関する条例施行規則第3条第3号イ又はロに該当する者	
事業の概要		当社の主要業務は米飯加工食品（弁当、おにぎり、お寿司等）・調理パン（サンドイッチ等）・惣菜等の製造販売であります。		

◎ 温室効果ガスの削減目標の達成状況

(1) 計画期間	
平成 26 年 4 月 1 日～	平成 29 年 3 月 31 日 (3年間)

(2) 前年度における温室効果ガス総排出量

区分	基準年度(25)年度	前年度(28)年度
温室効果ガス総排出量	9,493 t-CO ₂	9,489 t-CO ₂
温室効果ガス総排出量(平準化補正後)	10,062 t-CO ₂	9,896 t-CO ₂
植林、緑化、森の保全による二酸化炭素の吸収量		0 t-CO ₂

(3) 温室効果ガスの削減目標の達成状況

区分		削減目標 (28 年度)	第1年度 (26 年度)	第2年度 (27 年度)	第3年度 (28 年度)
選択	レ	削減率(排出量ベース) 0 %	0 %	0 %	0 %
	レ	削減率(原単位ベース) 9.7 %	9 %	10.8 %	10 %
削減率(平準化補正ベース)		— %	11.5 %	12.2 %	11.5 %
吸収量による削減率		0 %	0 %	0 %	0 %

温室効果ガスの排出に係る原単位の設定内容(目標削減率(原単位ベース)を選択した場合のみ記入)

温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値	(大阪市内の工場総売上高)
(温室効果ガス排出量と密接な関係を持つ値を複数設定した場合の設定方法)	

(4) 温室効果ガスの削減状況についての見解(計画の最終年度に目標が達成できなかった場合、その理

定期的な機械の導入・入れ替えにより順調に削減できていると考えます。

◎ 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策

(1) 推進体制

全社的に温暖化対策に取り組むため各対象事業所長を責任者とした態勢にて、目標達成に取り組んでおります。

(2) 温室効果ガスの排出及び人工排熱の抑制並びに電気の需要の平準化のための対策の実施状況

1. 産業・業務分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	大阪工場	コード (1215) 省電力コンプレッサー入れ替え	省電力コンプレッサー入れ替え	26 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				
2	レ	GHG排出	本社	コード (1216) 高効率エアコン設備への入れ替え	高効率エアコン設備への入れ替え	26 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
	レ	平準化				

2. 自動車分野

No.	温室効果ガス (GHG) の排出 及び人工排熱 の区分		事業所名	対策項目	対策の内容	実施スケジュール (年度)
1	レ	GHG排出	大阪工場 ならび物流センター	コード (2122) 極力、移動には車輦を使用しない	カーシェアリングと公共交通機関の積極的利用	26 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
2	レ	GHG排出	関西工場	コード (2122) 極力、移動には車輦を使用しない	カーシェアリングと公共交通機関の積極的利用	26 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
3	レ	GHG排出	本社	コード (2121) 軽自動車への入替	既存の普通車を軽自動車へ入替する	26 年度 ～ 29 年度
	レ	人工排熱				
4	レ	GHG排出	全社	コード (2123) テレマティクスの導入	テレマティクスを導入し、エコドライブを促進する	28 年度 ～ 28 年度
	レ	人工排熱				

(3) その他の抑制対策
